

# 親子聖書日課

NO.1867 2024.7/7-13

名前

[日]「全地に君臨される偉大な王」と言える王は、主の他には一人もいません。主は公平と慈しみに富み、全ての人を愛されました。主イエスは王の王ですから、今も大いに崇められ、「歌え、歌え、キリストの愛を」と、世界中で主をほめたたえます。

[月]聞くのと見るのでは、全く違うのが世の中です。しかし、永遠の神の都、天国は違います。聖書で聞いたことを、そのまま天国で見られます。だから、死を恐れることはありません。いつの日か、死を越えて、天国に行けることを期待しましょう。

[火]「知恵の詩編」と呼ばれ、一つの知恵さえ身につければ、豊かに生きられます。それは主を信じることです。主は十字架で私達の「魂を贖い」、復活して「陰府の手から取り上げて下さ」います。主によって、人は永遠に生きることができます。

[水]苦難の日に主を呼べば、主は救って下さるとは、「困った時の神頼み」でよいと勧めたものではありません。日頃から主を信じ、礼拝を捧げなければ、苦難の日が来ても、即座に主に救いを求めないものです。いつでも、主を呼び求めましょう。

[木]ダビデがバト・シェバと夫ウリヤに罪を犯した時、悔い改めた詩です。王の権力で罪をもみ消さず、罪を認めて、主の憐みにすがりました。その結果、主に喜ばれるのは、いけにえではなく、「打ち砕かれた悔いる心」であることに気づきました。

[金]オリーブの木は冬でも葉は枯れず、いつまでも実を結ぶ美しい木で、クリスチャンの姿を表します。但し、教会から離れては、ただの木になってしまいます。「神の家に留まる」ためには、神を第一とし、礼拝も奉仕も献金も最優先に献げましょう。

[土]ユダヤでは公然と「神などいない」と言えませんから、心の中で神の存在を否定する人がいました。私達も口では神を信じていると言いながら、心では「そんな事は神でもできない」と思うことはありませんか。その人は「神を知らぬ者」です。



	聖書	問題	答え
日	詩編 47:1-10	主は全地に君臨される どんな方ですか。	
月	48:1-15	神は何を越えて、私達を 導いて行かれますか。	
火	49:1-21	神は私の魂をどうして 下さいますか。	
水	50:1-23	何を神へのいけにえと して捧げるべきですか。	
木	51:1-21	神の求めるいけにえは どんな霊ですか。	
金	52:1-11	私は生い茂る何の木で すか。	
土	53:1-7	神を知らぬ者は心に何 と言いましたか。	
感想と祈りの課題			